

ヒト中心のまちなかをつくるプロジェクト

# !OPEN! NUMAZU

2024

実施結果



# 実施概要

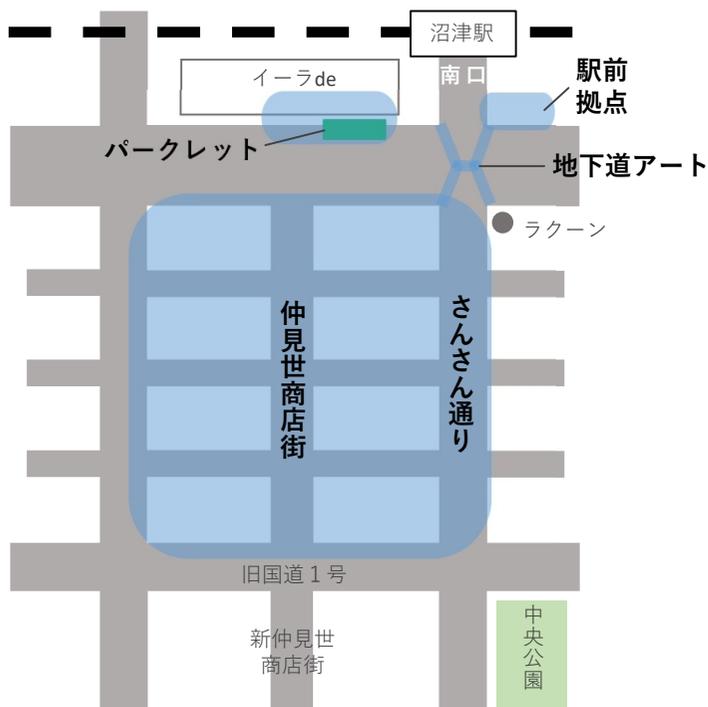
## 【期間】

第一弾 令和6年11月1日（金）～11月10日（日）

第二弾 令和7年1月27日（月）～2月9日（日）

## 【場所】

仲見世商店街、さんさん通り、旧西武百貨店跡ほか沼津駅南口周辺



## 【内容】

- 仲見世商店街、さんさん通りに椅子や植栽を配置した**自由にくつろげる空間を設置**。
- 歩いて楽しいまちなかを演出するために、**駅前地下道にテープアートを制作**。
- 旧西武百貨店跡を駅前拠点とし、**周辺エリアの情報発信や、取組に賛同いただいた事業者と連携したイベントを開催**。

## 【目的】

まちづくりシナリオで示すPHASE 2-1として、まちなかの回遊や滞留を生み出す空間づくりを商店街や周辺事業者と共に実践。

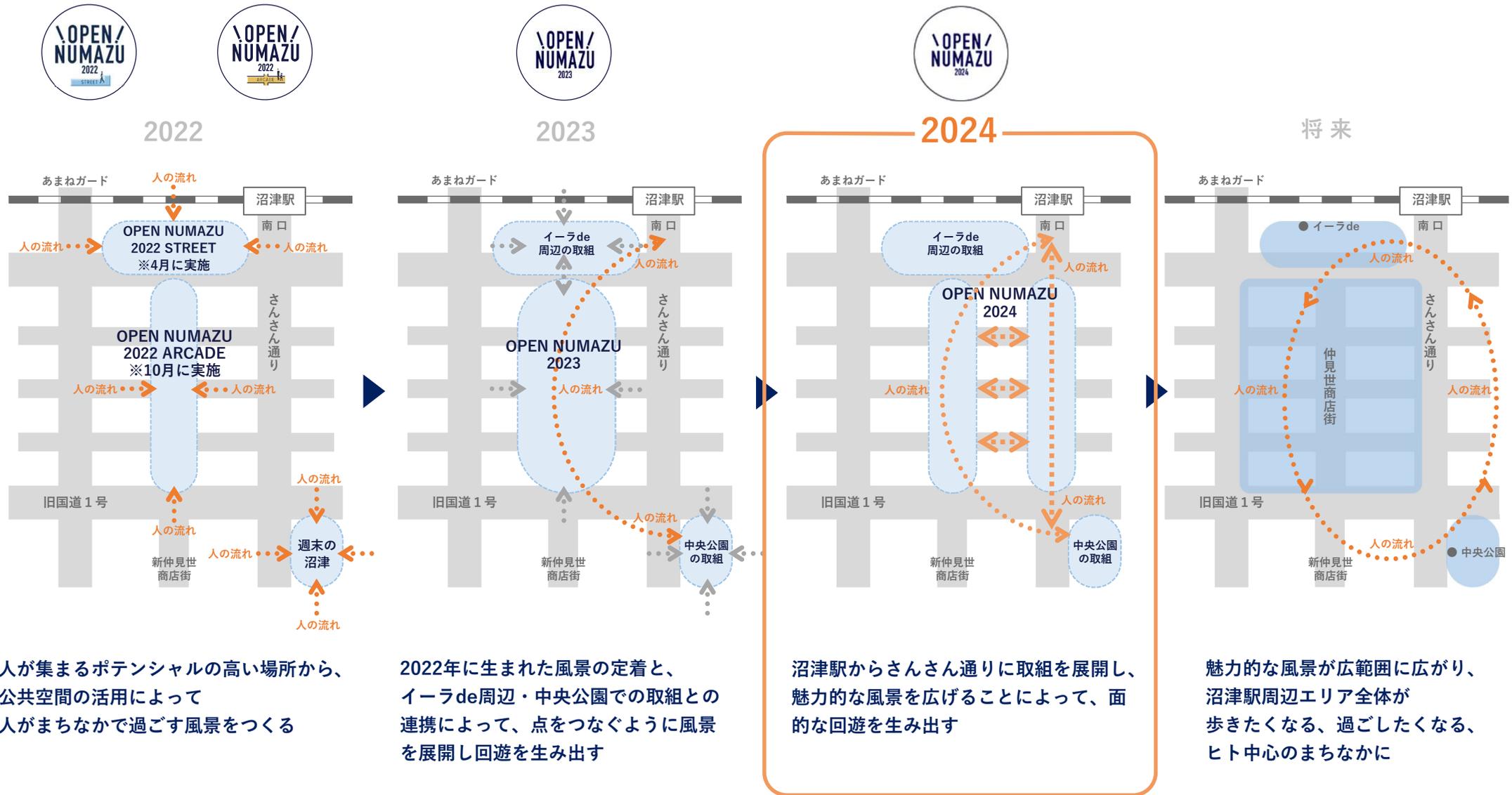


目的1 まちなかへの来訪・滞在を誘発する

目的2 市民のまちの変化に対する期待及び地域の公共空間利活用に対する機運を醸成する

目的3 ヒト中心のまちづくりに関わる人の思いを形にする

# OPEN NUMAZUの展開イメージ



# 空間づくりの概要



① 駅からの視認性が高い駅前空間では、シンボリックな滞留空間を創出することで人を集め、周辺店舗の情報や期間中のイベント情報などを発信。また、周辺事業者との連携によるイベントを開催することで、まちなかで過ごすきっかけ、まちなかに賑わいを創出する取組を展開。



② 来訪者の回遊を促すきっかけを作るために、駅とまちを繋ぐ駅前地下道にテープアートを制作することで、見て・歩いて楽しい空間を演出。



③ まとまった空間を確保できる仲見世商店街では、比較的長時間の滞在を狙い、くつろげる滞留空間を設置。



④ さんさん通りでは、買い物途中のひと休憩や沿道店舗利用者の使用など、比較的短時間の利用を狙い、協力店舗の地先空間にイス・テーブル・植栽等を設置。



# 実施結果 ① まちなかへの来訪・滞在を誘発する

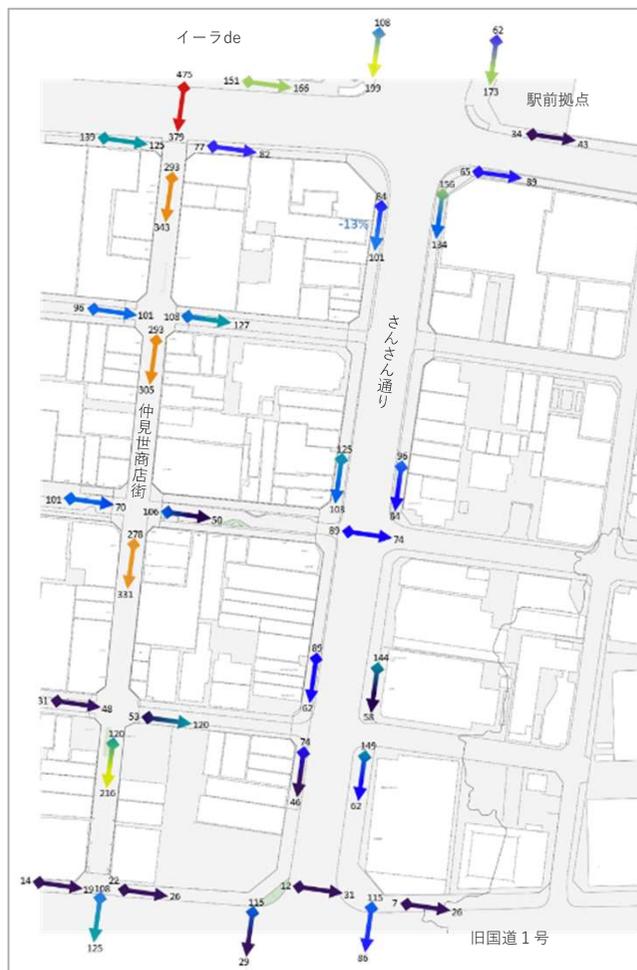
## ゲートカウント調査

各地点で5分間にそこを通過する人数をカウント。10:00~18:00の2時間おきに実施した計5回の平均値を算出し、1時間あたりの人数に換算。

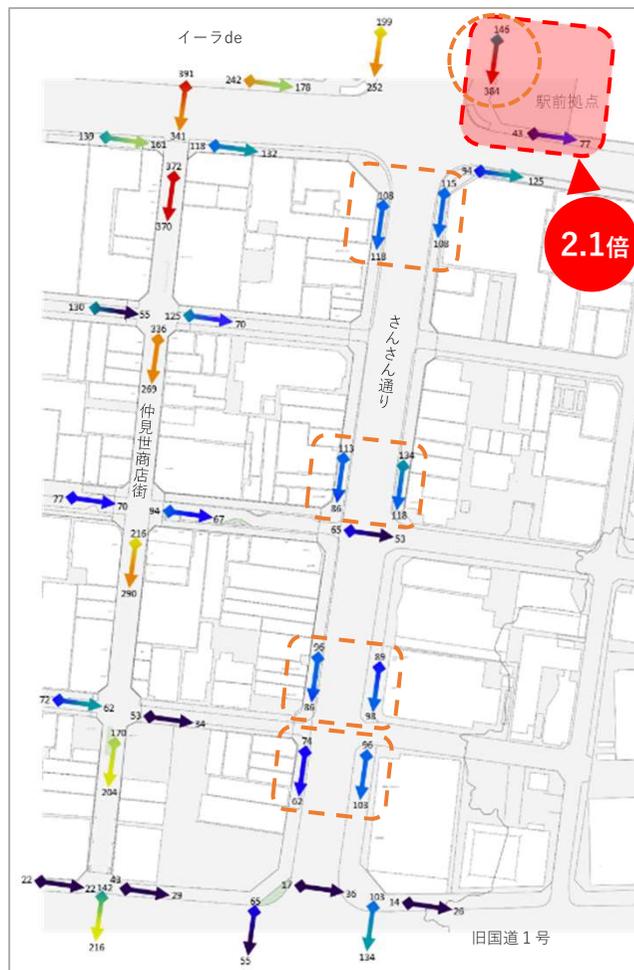
通常時と比べて、駅前からさんさん通りの歩行者通行量が約**1.5倍**、駅前拠点エリアは約**2.1倍**に増加。

### 【歩行者通行量分布】

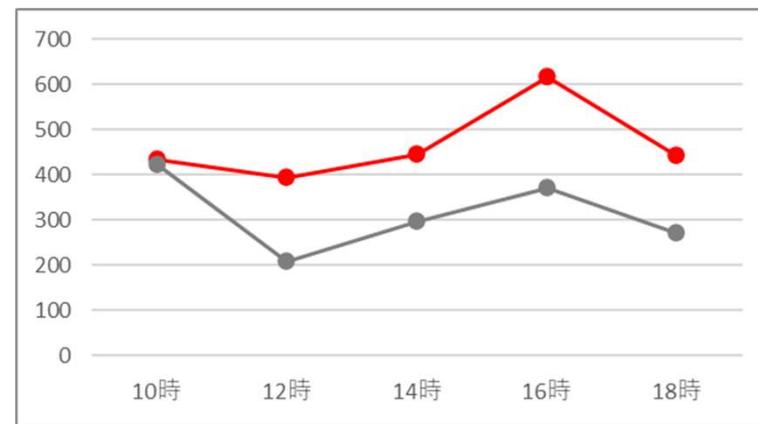
通常時：10月13日(日) [天候] 晴れ



OPEN NUMAZU実施時：11月9日(土) [天候] 晴れ



### 【駅前からさんさん通りの平均歩行者通行量の時間帯別変化】



※ 駅前からさんさん通りの9地点の平均

OPEN NUMAZU 実施時 ●  
通常時 ●

人通り量(人/時間)

- 360人～
- 240-360人
- 180-240人
- 150-180人
- 120-150人
- 90-120人
- 60-90人
- 0-60人

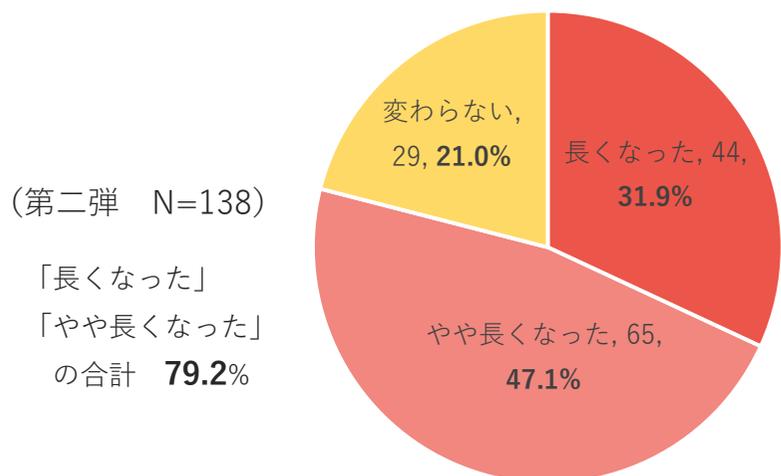
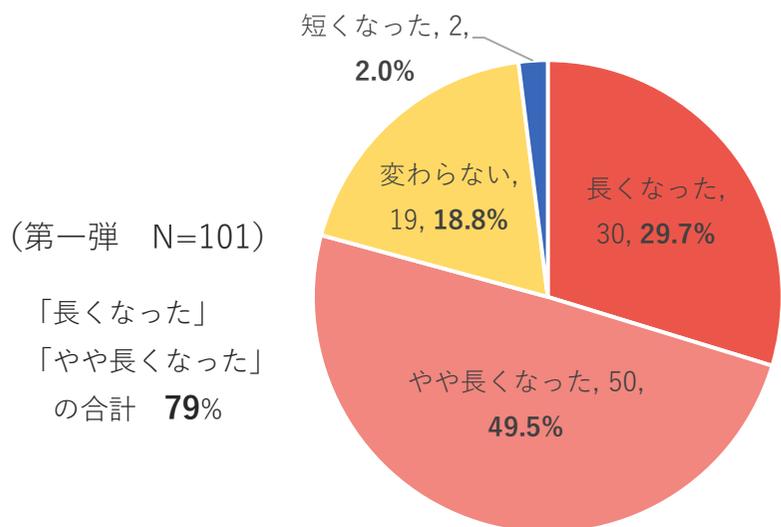
# 実施結果 ① まちなかへの来訪・滞在を誘発する

## 来訪者アンケート調査

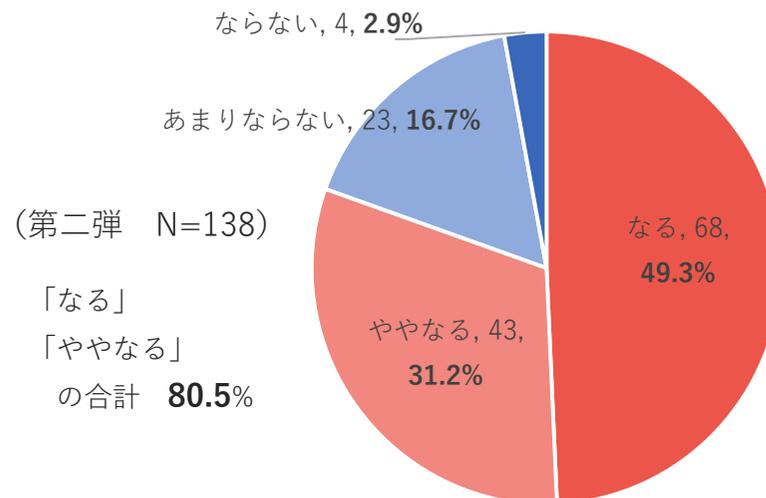
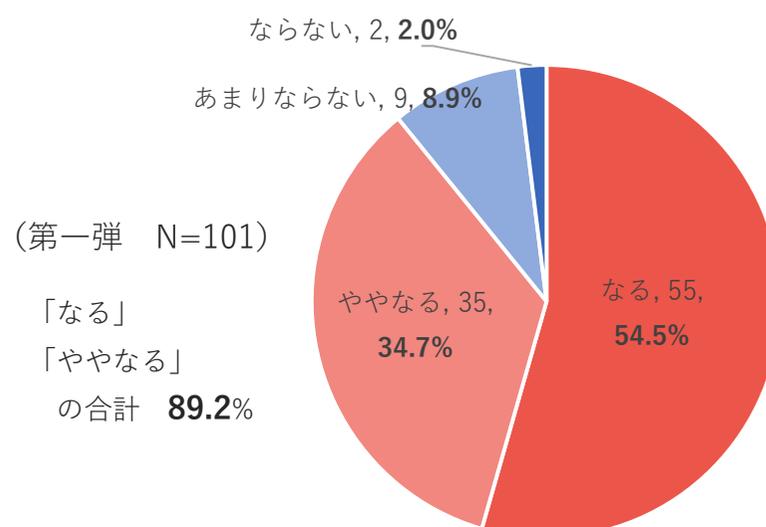
OPEN NUMAZU会場の来訪者を対象にアンケート調査を実施。(第一弾 N=101) (第二弾 N=138)

第一弾、第二弾ともに来訪者の約**80%**が普段より滞在時間が長くなり、**80%**以上が今回の取組がまちなかを訪れるきっかけになったと回答

### 【滞在時間の普段からの変化】



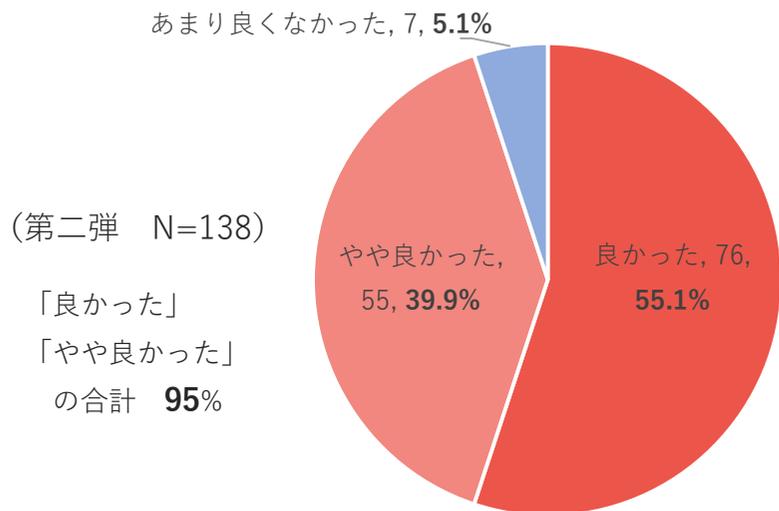
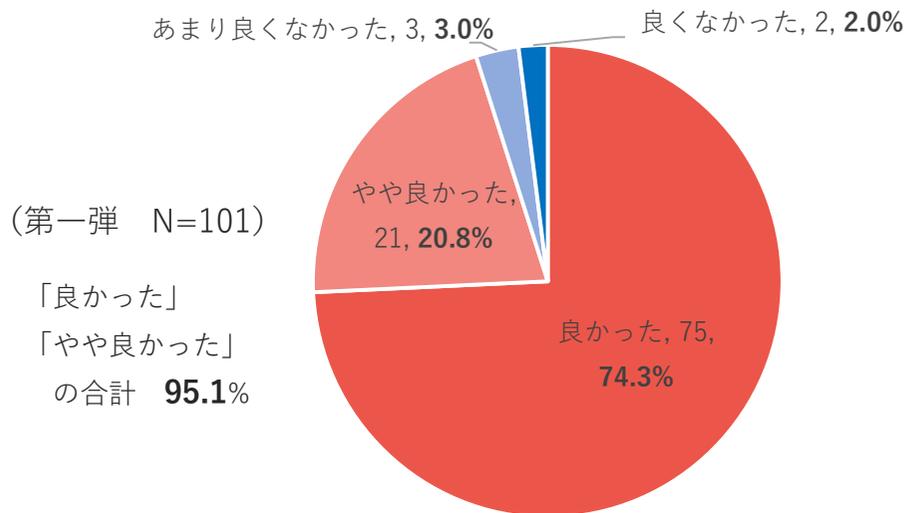
### 【今回のような空間づくりがまちなかを訪れるきっかけとなるか】



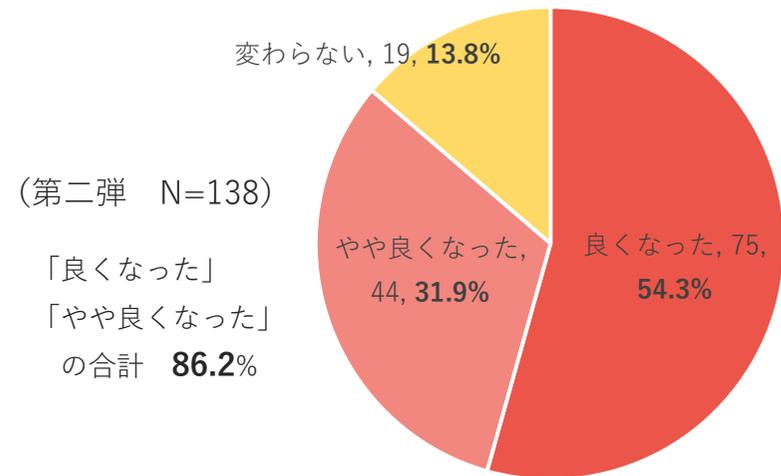
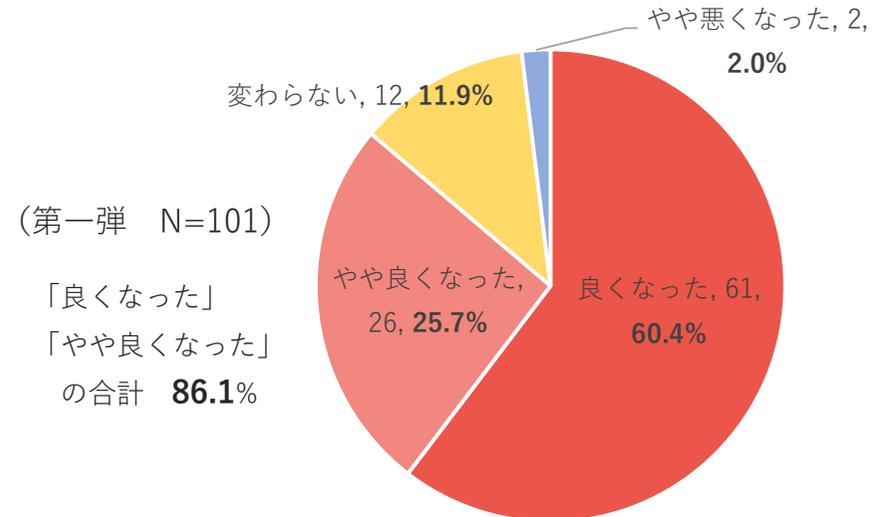
## 実施結果 ② 市民のまちの変化に対する期待及び地域の公共空間利活用に対する機運を醸成する

第一弾、第二弾ともに来訪者の**95%**以上が、OPEN NUMAZUに満足しており、**85%**以上がまちなかの印象が良くなったと回答

【OPEN NUMAZUに対する満足度】



【OPEN NUMAZUに訪れ、まちなかの印象に変化があったか】



### 【良かった理由】

- テープアートが素敵。地下道が明るくなり歩くのが楽しくなる。
- のんびり本を読んだり、自分なりの楽しい時間を過ごせた。
- 普段は大型商業施設に行くことが多いが、近所に散歩に行こうと  
いう気持ちになる。

### 【改善点等】

- 遊休化した建物も利用することで、さらに活気が生まれると思う。
- アナウンスが足りない。もっと大体的に宣伝してほしい。
- 冬場は寒いし風も強いので長くはられない。

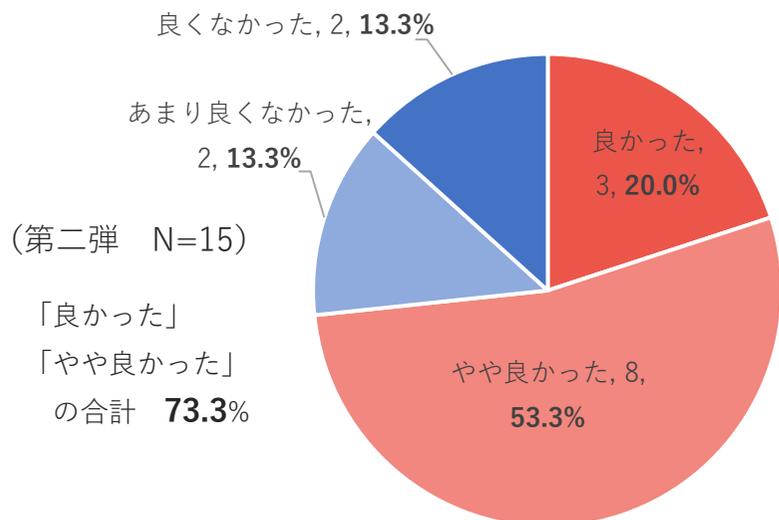
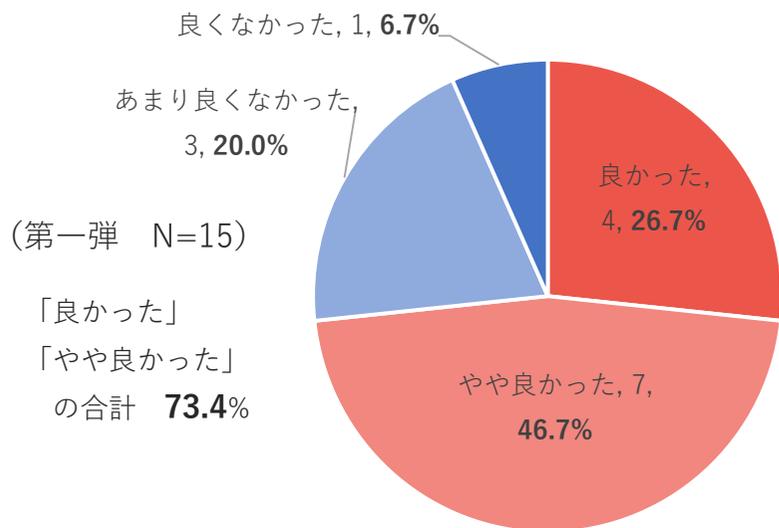
## 実施結果 ② 市民のまちの変化に対する期待及び地域の公共空間利活用に対する機運を醸成する

### 地元商業者アンケート調査

仲見世商店街、大手町商店街の商業者等を対象にアンケート調査を実施。（第一弾 N=15）（第二弾 N=15）

地元商業者の約**75%**がOPEN NUMAZUに満足していると回答

#### 【OPEN NUMAZUに対する満足度】



#### [良かった理由]

- くつろぎスペースがあるとお客様の足が止まるので、商店街の滞在時間が少しでも長くなる。
- 雰囲気が明るくなり、人が目に映ることで安心感や活気が見えた。
- 休憩スペースとしての利用、店頭での飲食、荷物の梱包など、ご老人の方や観光客の方が便利に使っている姿が見られた。
- 新しい取組で動くことは大切であると思う。
- 駅前がにぎやかになって良かった。

#### [良くなかった理由]

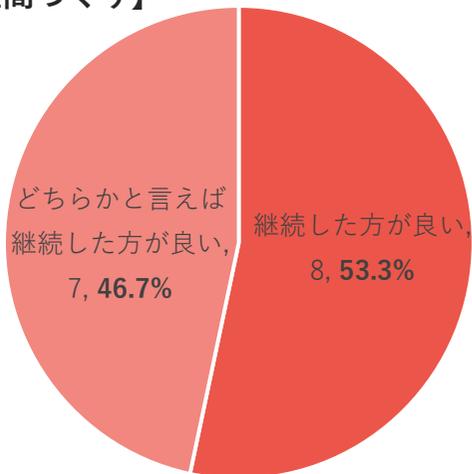
- ゴミが増える、通行の妨げになる。
- 撤収が早かった気がする。
- 告知が十分ではなかった。

## 実施結果 ② 市民のまちの変化に対する期待及び地域の公共空間利活用に対する機運を醸成する

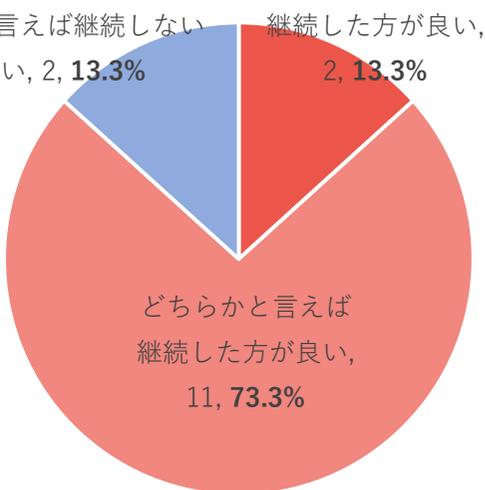
第一弾、第二弾ともに地元事業者の**85%**以上が滞留空間づくりを今後も継続した方が良いと感じ、**60%**以上が公共空間を活用した取組に関わりたいと回答

【今後の継続した空間づくり】

(第一弾 N=15)  
「継続」  
「どちらかと言えば継続」  
の合計 **100%**

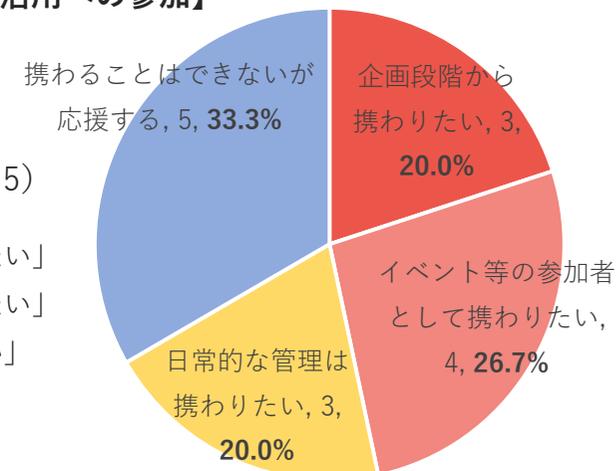


(第二弾 N=15)  
「継続」  
「どちらかと言えば継続」  
の合計 **86.6%**

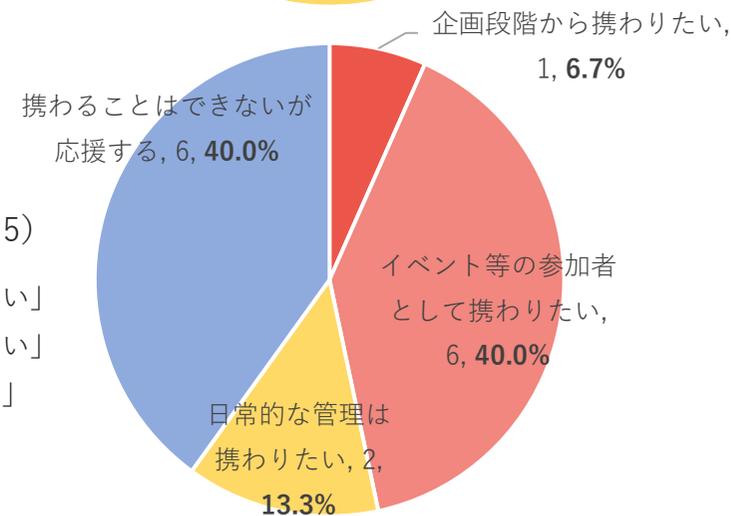


【公共空間活用への参加】

(第一弾 N=15)  
「企画段階から携わりたい」  
「参加者として携わりたい」  
「日常管理で携わりたい」  
の合計 **66.7%**



(第二弾 N=15)  
「企画段階から携わりたい」  
「参加者として携わりたい」  
「日常管理で携わりたい」  
の合計 **60.0%**



【継続した方が良いと思う理由】

- 憩いの場所が定着すると、来街者が来やすくなる。
- 買い物途中に休めるスペースがあると嬉しいという声があった。
- 植栽やベンチがあることで、商店街があたたかい雰囲気になる。
- 各方面からの注目があつた。

【継続しない方が良いと思う理由】

- 夜間に火を使用する利用者がいたため。

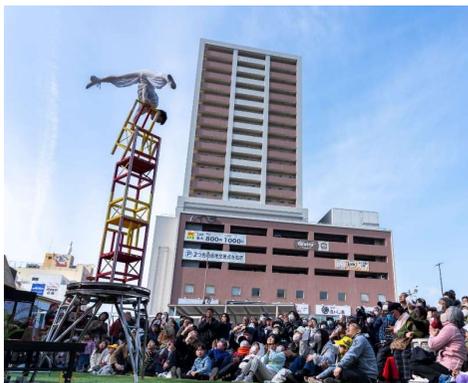
## 実施結果 ③ ヒト中心のまちづくりに関わる人の思いを形にする

取組に賛同いただいた事業者のやってみいたいという企画を、OPEN NUMAZUとの連携で実施。

- NUMAZU ASIAN FESTIVAL 実行委員会
- コラボ企画①  
Asian 春節祭 in NUMAZU  
沼津っていいね！ようこそ沼津へ
- 【事業者の思い】  
まちと外国人のつながりを作りたい

- アスルクラロ沼津
- コラボ企画②  
沼津駅ジャック！  
沼津を青く染める
- 【事業者の思い】  
まちなかに賑わいを創出したい

【雑技団演舞を開催 @駅前拠点】



【ピッチ仕様のフリースペース @駅前拠点】



【仲見世商店街で獅子舞の練り歩きを実施】



【選手やマスコットのOPEN NUMAZU企画への参加で交流促進】



# OPEN NUMAZU 2024で生まれた風景





OPEN NUMAZU 2024で生まれた風景



# OPEN NUMAZU 2024で生まれた風景



# OPEN NUMAZU 2024で生まれた風景

